



会津そば通信 第1号 (令和5年7月発行)

会津若松市・磐梯町・猪苗代町・JA会津よつば（あいづ地区）
福島県農業共済組合会津支所・JA全農福島県本部・
福島県会津農林事務所農業振興普及部

水田における転作作物として、そば生産を拡大しましょう！！

●そば作りのポイント！●

良質安定生産の第一歩は、「排水対策」「適期播種」です。

天候不順による播種作業の遅れ、まき直し、排水不良ほ場での湿害、刈取作業の遅れは品質、収量の低下につながります。適期を逃さず作業に入れるよう、天気予報をよく確認しながら、予め準備しておくことが重要です。

☆播種前に予め額縁明渠を施工するなど、ほ場の排水対策を徹底しましょう！



1 ほ場の準備 ～排水対策を中心に～

そばは、湿害に極めて弱い作物です。特に出芽～生育初期の湿害が、その後の生育や収量に大きく影響します。排水対策を徹底しましょう。

また、連作は収量の低下を招く要因となりますので、ほ場を計画的にローテーションしましょう。

(1) 排水対策の徹底

・転換畑では、団地化や額縁明渠等により、隣接ほ場からの浸透水や地表面での滞水を防ぎましょう。また、弾丸暗渠や心土破碎を行い透水性を向上させましょう。

(2) 土づくり・施肥

・そばに適した土壌 pHは6前後です。堆肥の投入による土づくりを行い、石灰で pH等のバランスを整えましょう。(表1)

(3) 施肥量の目安

・リン酸、カリは、そばの結実率や耐倒伏性の向上に対する効果が大きいので、しっかり施用しましょう(表2)。窒素は過剰になると、過繁茂になり倒伏したり結実が低下しやすくなるので、ほ場の肥沃度が高い場合は、減肥しましょう。

・生育量が不足している場合は、開花期頃に窒素成分量 10a あたり 2～3kg を追肥しましょう。

・黒ボク土のほ場ではリン酸の効果が出にくいので、リン酸は多めに施用しましょう。

表1 土づくりの目安（10a 当たり）

苦土石灰	堆肥	ようりん
80~100kg	1~1.5t	30~40kg

注) 黒ボク土地帯の投入量

表2 基肥量の目安（10a 当たり成分量）

窒素	リン酸	カリ
2~3kg※	3~5kg	2~3kg

※ほ場の肥沃度に合わせて調整する

(4) 耕うん、碎土、整地作業

- ・播種当日に、耕うん、碎土、整地の一連の作業を行うようにしましょう。
(耕うん後に降雨があると、ほ場が乾きにくくなり碎土率が著しく低下します)
- ・碎土率（2cm以下土塊割合）は、70%以上を確保しましょう。碎土率が高いと、出芽や初期生育の揃いが良くなります。

2 播種作業 ~適期播種を!~

- ・播種が早すぎると徒長による倒伏、開花時期の高温による不稔障害を受けやすく、逆に遅いと生育不足や降霜による被害を受けます。適期に播種を行いましょう。（表3）

表3 播種適期

地域区分	播種適期
山間高冷地	7月下旬~8月上旬
平坦地	8月上旬~中旬



(1) 種子の準備

- ・よく選別された、充実した種子を使用しましょう。
- ・そばは、他家受粉性で自然交雑しやすいので、定期的に種子を更新するとともに、地域内ではなるべく同じ品種を作付けしましょう。

(2) 播種量及び苗立本数の目安

- ・播種量は、全面全層播（バラ播き）で、10aあたり5~7kgが目安です。また、目標とする苗立本数は、平方メートルあたり100~150本です。
- ・発芽時に土壌が過湿状態だと、発芽を著しく低下させます。播種後に大雨が予想される場合は播種作業を延期し、天気を確認しながら播種してください。
- ・播種後は、ロータリーがけやレーキにより、深さ5cm以内に攪拌して覆土します。

(3) 雑草対策

- ・そばは初期生育が旺盛です。碎土率を高めて苗立ちを確保し、短期間で地上部を覆わせることにより、雑草の発生を抑制しましょう。

熱中症に注意!!



気温が高くなる日が続きます。30分に1回を目安に休憩を取りましょう。
また、作業前・作業中はこまめな水分補給を行ってください!